

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	大腸癌
治療法	ゼローダ+アバスチン併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	アバスチン	ゼローダ
規格	100mg/4mL 400mg/16mL	300mg
一般名	ペバシズマブ	カペシタビン
一日投与量(規定)	7.5mg/kg	1.36m <sup>2</sup> 未満   1200mg/回
患者情報から算出した一日投与量	<b>375 mg</b>	1.36m <sup>2</sup> 以上1.66m <sup>2</sup> 未満   1500mg/回
実際の投与量	<b>380 mg</b>	1.66m <sup>2</sup> 以上1.96m <sup>2</sup> 未満   1800mg/回
	<b>7.6 mg/kg</b>	1.96m <sup>2</sup> 以上   2100mg/回
投与日	day 1	day1-14
1クール期間	21日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与前に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	治癒切除不能な進行・再発大腸癌
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分又はフルオロウラシルに対し過敏症の既往歴のある患者 2.テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者 3.重篤な腎障害のある患者 4.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 5.喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:75,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髓機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE Ver4.0におけるgrade2の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●アバスチン</p> <p><b>重大</b> 1.ショック、アナフィラキシー 2.消化管穿孔 3.瘻孔 4.創傷治癒遅延 5.出血 6.血栓塞栓症 7.高血圧性脳症、高血圧性クレーゼ 8.可逆性後白質脳症症候群 9.ネフローゼ症候群 10.骨髓抑制 11.感染症 12.うっ血性心不全 13.間質性肺炎 14.血栓性微小血管症</p> <p><b>その他</b>(5%以上のみ抜粋) 神経毒性、食欲減退、悪心、口内炎、下痢、嘔吐、便秘、胃腸障害、尿蛋白陽性、肝機能異常、高血圧上室性頻脈、脱毛症、発疹、皮膚変色、剥脱性皮膚炎、関節痛、肺高血圧症、眼障害、疲労・倦怠感、発熱、蜂巣炎、鼻中隔穿孔、卵巣機能不全、骨盤痛</p> <p>●ゼローダ</p> <p><b>重大</b> 1.脱水症状 2.手足症候群 3.心障害 4.肝障害、黄疸 5.腎障害 6.骨髓抑制 7.口内炎 8.間質性肺炎 9.重篤な腸炎 10.重篤な精神神経系障害(白質脳症等) 11.血栓塞栓症 12.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p><b>その他</b> 手足症候群、悪心、食欲不振、赤血球数減少、下痢、白血球数減少 血中ビリルビン増加、口内炎、リンパ球数減少 等</p>
備考	

# ゼローダ+アバスチン併用療法 観察記録

所要時間: 初回90分 2回目60分  
3回目以降30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: アバスチン ( mg ) 一般名(ベバシズマブ)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		アバスチンが終わるまで維持	
	生食100mL+アバスチン		<input type="checkbox"/> 初回 90分かけて点滴【 ml/h】 <input type="checkbox"/> 2回目 60分かけて点滴【 ml/h】 <input type="checkbox"/> 3回目以降 30分かけて点滴【 ml/h】	
	総液量 mL			
本体終了後抜去				